

400名の熱気ほとばしらせて、勝利団結の旗ひらく

労団結旗開き



確信高く8/3へ 「関川委員長あいさつ」

続々結集してくる組合員で大ホールがほぼ満杯になったのは13時15分、吉岡教宣部長の司会によって開始され、冒頭関川委員長の主催者を代表してのあいさつが行われた。関川委員長は「我々は才四回大会にひまえて年末年始をつらぬく激烈な三大闘争」鈍子再建・解雇撤回・ジェット延長阻止をかけた二波の減産闘争を闘う中で81年を迎えた。年末年始、勤労千葉の闘う旗はしまつていないので今日改めて、南くというものでもないが……、本日旗ひらきをもつて決戦段階におかう総決起集会をしよう」と自信に満ちた決意をのべ、とりわけ「当面する鈍子決戦に勝利することこそ81年の勝利を南く」ことを訴えた。

中江昌夫
氏から
基調講演



日刊 勤労千葉

8.1.16
No. 633

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五〜六(公衆)〇五三三(22)七二〇七

鈍子支部「ジェット延長阻止」再建「粉碎」 8/3「ジェット延長阻止」の総決起を誓う

「81年闘争勝利、鈍子決戦勝利一月総決起」をあいことばに、81年勤労千葉団結旗ひらきは、一月十四日、労働者福祉センター大ホールに組合員三五〇名を軸に各界からの代表、三里塚芝山連合空巻反対同盟、ジェット闘争支援共闘会議等よりの参加も得て、四〇〇名を越える結集、会場を圧する熱気の盛況のうちにかちとられ、なごやかな中にも激しい闘志をみなぎらせ、勝利の81年への幕を切って著した。

続いて勤労元副委員長・中江昌夫氏による基調講演が行われた。「日本労働運動の現状と当面の課題」勤労改革運動・鈍子支部の組織闘争の意義」と題する一時間十分の講演の中で、氏は今日の混迷する既成の労働戦線の現状とそれを突破し戦線的再生を勝ちとる力が勤労大改革「81年への勤労千葉の先駆的決起にあることを提起し、



（左から）長谷川、市東、関川委員長、石毛

各支部決意表明

続いて全支部の代表がそろって登壇、代表して日暮成田支部長、堀口佐倉支部長、永田千葉支店支部長が81年勝利への決意をきっぱりと述べ、満場の拍手がこいを包んだ。

各界から連帯のあいさつ

各界からつめかけた支援共闘の仲間も代表して、社会党県本部、県労連、三里塚芝山連合空巻反対同盟、部落解放同盟千葉県連、



えて、勤労をめぐる全国情勢、それと密着した鈍子での組織戦の重要性を訴えた。労働戦一・81春闘問題の分析など、会場でメモを控えながら聴き入る姿が目立った。



関川委員長の手で恒例の鏡ひらき

ジェット闘争支援共闘会議、弁護団、全電通千葉県本部、赤桐参議、高橋県議の方からあいさつをうけ、恒例の鏡ひらき、各支部自慢のノド、技をひらきこのアトラクション、ガバローで幕を

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ